

活動紹介票

団体名	特定非営利活動法人 岩手未来機構	代表者 職・氏名	理事長 大野正勝
住所	盛岡市長田町6-16	電話	019-613-7781

事業内容

助成区分	一般枠		
事業名称	盛岡の地域資源と文化芸術の持つ創造性を発信するための展覧会事業		
主な活動地域	盛岡市		
取組概要	目的	盛岡市内の歴史ある建築物を舞台に、岩手にゆかりある若手作家の作品を地域に紹介し、現代アートに対する鑑賞者や理解者の裾野を広げ、文化芸術の振興に寄与する。	
	内容	<p>盛岡市の景観保存建造物に指定される徳清と旧石井県令邸を会場に、新進作家3名（アーティスト2名、小説家1名）による展覧会「Mute(ミュート)」を開催。盛岡の歴史と文化芸術を市民や観光客に広く発信した。</p> <p>期間 9月17日(土)～9月30日(日) 会場 徳清 旧石井県令邸 内容 現代アートと文学の展示</p> <p>1) 徳清 「永遠の如き時間のかかる」をテーマにした絵画と文学の展示。 尾崎森平はキー・ビジュアル“Stray Cow (Io listening to the silence)”や新作「Circle」を含む20作品余を発表。南海遊は小説「ユビキタスの孤独」を展示した。</p> <p>2) 旧石井県令邸 「安らぎはいたるところに」をテーマにした絵画と小説の朗読音声による構成。 長友心平は「天国のクジラ」、「王様シリーズ」など30作品余を展示。 南海遊は小説「キリコの切願」を執筆し、登田真由子の朗読によって発表。</p> <p>3) 小説はWEB上にて一般公開するとともに、来場者にQRコードカードで周知を行った。</p> <p>4) 関連イベントとして、クロステラス盛岡において9月17日、照井健氏(元・IBCアナウンサー)とアーティスト3名によるトークイベントを行い、その後19日まで作品のメイキング映像の上映と、チケット等販売を行った。</p>	
	成果 (将来計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展覧会入場者数 のべ498名(2会場合計数:1日平均35人)</li> <li>・市民ボランティア数 のべ116名</li> <li>・関連イベント観覧者 1550名 ※うちトークイベント参加者 50名</li> </ul> <p>計 のべ2164名の市民と観光客に波及効果があった。</p> <p>展覧会では、絵画と文学のコラボレーション、会場自体が持つ魅力により、アートを嗜好する若い世代から一般市民層、観光客まで幅広く来場していただいた。展示の根底に流れる震災の記憶の継承についても、十分に発信できたと考えている。なお、メディアでは、岩手日報、河北新報、盛岡タイムスの3紙(資料添付)で取り上げられたほか、市民や観光客のSNSでも多く発信された。なお、アートと文学のコラボレーションについては今後も継続して取り組み、新たな表現の可能性を探りたいと考えている。</p>	
事業費(千円)	1,326千円(うち補助金 800千円)		

